

# 環境方針

立正佼成会は、釈尊が悟った真理・法にもとづいて、『生かされ、生きるチカラ。』をテーマに平和な世界をめざしています。

地球温暖化をはじめとする環境問題は、今や多様な生物と人類の存続を脅かし、未来に深刻な影響を及ぼすものとなっております。

このような状況の原因は、私たち自身にあると内省し、人と自然が調和を取り戻す契機となるよう、環境への負荷が少ない持続可能な社会の実現に取り組みます。

## 基本姿勢

### ■いのちの尊重

人間のいのちも、山川草木といった地上に存在するすべてのいのちも「永遠のいのち」の一つの現れであると自覚し、その尊いすべてのいのちを敬い、感謝する心を育みます。

### ■共生の実現

人は本来、皆一つの乗物の同乗者——その自覚に立ち、共に支え合う世界の実現に取り組みます。

### ■簡素なライフスタイル

日常生活の中で、「少欲知足」の心を養い、簡素なライフスタイルをめざします。

## 行動指針（本部教庁）

- (1) 宗教協力の枠組みで合意された宣言等を率先垂範します。
- (2) 環境に関する具体的な目標を定め、活動し、振り返りつつ、継続的に改善します。
- (3) 研修、イントラネット、インナーコミュニケーションなどを通じて、組織で働くすべての人へ、環境方針の理解と環境問題に関する意識啓発をはかります。
- (4) 教庁の活動に伴う炭素排出量を減らします。
- (5) 「3R」を推進し、活動や製作物において、本当に必要なものを入手し、再利用、分かち合いなどの工夫をし、ゴミを減らします。
- (6) 「一食（いちじき）を捧げる運動」を推進します。
- (7) 環境に関する法令を遵守します。

2009年6月2日

立正佼成会 理事長 渡邊恭位